

# てん菜 だより

2020.11

第 2 号



発行／一般社団法人北海道農産協会／〒060-0004 札幌市中央区北4条西1丁目 ☎011-221-2542 FAX011-221-1815  
URL <https://hokkaido-nosan.or.jp>



てん菜受渡等現地調査（十勝管内）

## てんさい

新型コロナウイルスの流行が砂糖の消費にも大きな影響を与えている。春先の巣籠り時期は、自宅で時間を持て余した(?)人たちがごぞつてホットケーキを作ったのか、ホットケーキミックスの売れ行きが好調なんて話も聞いたが、やはり外に出ないため、コンビニに行ったついでにお菓子をかうことも少ないし、外食控えから、砂糖の消費も大幅に落ち込むこととなった。その後、徐々に人が戻ってきたところに暑い夏がやってきて、アイスクリームや飲料が売れてはきたが、低迷した砂糖の消費を挽回するには程遠い状況である。

さて、先日、北海道から本州へ貨物列車での輸送量が一番多いものは?という話題をテレビで取り上げていた。タマネギ・ジャガイモ・乳製品・砂糖の4択問題であったが、皆さんおわかりになるだろうか?答えは①タマネギ42万トン弱、②砂糖約19・2万トン、③ジャガイモ約18・5万トン、④乳製品12万トン弱(2019年度JR貨物調べ)であった。タマネギ、ジャガイモで迷う方が多く、2番目が砂糖というのは意外に思われる方も多いかもしれないが、道外での需要に因應するため北海道から運ばれていく砂糖のことが、誇らしく思えた。

最後に、この号がお手元に届く頃には、既に製糖工場への原料てん菜の受入も最盛期を迎え、フル稼働で砂糖を生産していると思う。しかし、砂糖の消費が低迷しているの、何とか今後の回復に期待したい。食欲の秋は栗やカボチャのケーキが美味しいし、年末にはクリスマスもやってくる。今年はコロナ禍で我慢を強いられてきたので、いつもよりスイーツに手を伸ばしても罰は当たらない。皆さん、美味しいスイーツをたくさん食べて、コロナウイルスもインフルエンザも撃退しよう!(T)

### 協会の普及啓発活動

北海道農産協会が担当しているJ Aグループ北海道「天下糖一プロジェクト」の道内対策の本年度の実施状況についてお伝えします。

### ハイスクールパティシエロワイヤル

将来の北海道の菓子業界を担う人材を発掘、育成するという趣旨に賛同し「ハイスクールパティシエロワイヤル」に特別協賛しています。



本年も7月の三笠高校生レストランでの本選開催に向け準備が進められておりましたが、新型コロナウイルス感染症防止のためオンラインによる実施となりました。

てん菜糖を使用すること等を条件に全道の高校12校33チームより39作品の応募があり、一次審査で選定された10チームにより9月5日にオンラインでの本選が実施されました。入選した上位4作品についてはセイコーマートで商品化され、10月下旬より期間限定で全道で販売されました。

尚、本選大会の結果と様子は天

下糖一プロジェクトホームページにてご覧になれます。また、今年に入賞できなかった6作品についても地域限定で販売される予定です。



### スイーツ作りステップアップ講座 シュガーセミナーハイスクール

ハイスクールパティシエロワイヤルへの出場や将来パティシエを目指している高校生たちに、お菓子作りの基本修得、技術向上につながる出前講座を昨年に続き実施しております。

本年も全道の高校から多くの開催希望があり、4月より実施予定でしたが、新型コロナウイルスによる休校のため開催延期していましたが、十分なウイルス感染防止対策を講じ、全道15校を対象に8月より開

始しております。

セミナーにおいては、三笠高校生レストランで料理教室や菓子教室を開催している「三笠地域おこし協力隊」の3名を講師に迎え、砂糖の基礎知識、砂糖の使用テクニックやお菓子作りの工程の説明、砂糖の特性を生かしたお菓子の調理と出来上がったものの食べ比べなどを実施しました。

セミナーを受講した高校生だけでなく、実施校の先生方からも大変喜ばれており、今後実施予定の学校からの事前問い合わせも多く、当セミナーへの関心の高さが伺われます。



# プロ向けシュガーセミナー 2020

飲食業関係者・料理人・栄養士・看護師・料理研究家・フードコーディネーター・健康産業関連に従事する方々など、食のプロを対象とし、暮らしに欠かせない砂糖を知ってもらうためのセミナーを、昨年に引き続き開催しました。

本年はZOOMを利用したオンラインで開催し「運動と食」砂糖をどう摂るか、「知っておきたい糖質の」

「話」など専門家による講演と講師・MCによるディスカッションが行われました。

また昨年開催した「シュガーセミナー2019」については「シュガーセミナーベシック」として、昨年受講していない方々向けに、専門家による砂糖の基礎知識などを動画で紹介しました。

さらに、当セミナーを受講した「食のプロ」の方々が、ウェブ・お店・学校などで情報発信するための「砂糖塾」を開講する場合は当セミナー事務局がサポート致します。

zoomで参加する「プロ」向けセミナー  
Sugar Seminar ~at the webinar~ 2020

暮らしに欠かせない「砂糖」は北海道の大切な農産物のてん菜が原料。食のプロ達だからこそ知ってもらいたい。砂糖として「糖質」とその関係について専門家から教えてもらいます。

01 運動と食 -砂糖をどう摂るか-  
●必須栄養素 糖質とは?  
●糖質とエネルギーの関係 ほか  
講師 高橋 道子氏 札幌医科大学 健康増進科 准教授

02 知っておきたい糖質の話  
●糖質制限は手軽なダイエット?  
●インスタントの糖質  
●糖質摂取の必要性和安全な付き合い方 ほか  
講師 竹内 博氏 札幌医科大学 健康増進科 准教授

03 講師・MCによるディスカッション  
MC フォークファクター 安藤 智子  
2020年11月 開催期間予定  
2020年11月 開催期間予定

2020.11.15 14:00-15:00 (厚村開始13:45)

参加費 無料 カード決済(年会費)に限りません。お支払い方法はZOOMアプリから決済いたします。

お申し込み先 シュガーセミナー事務局 kina.sapporo@gmail.com

天下糖一 プロジェクト

# 食育フリーマガジン 「モグマガ」

小さな子供を持つママ向けフリーマガジン「モグマガ」第23号にて、「白黒つけたい砂糖の話」と題し砂糖の特集記事を掲載しています。



読者から届いた砂糖に関する疑問へのQ&Aをはじめ、砂糖を使ったレシピ、てん菜生産者へのインタビューなどが盛り込まれています。

また砂糖と虫菌の関係、砂糖は何歳から与えて良いか、など専門家の先生方から頂いた砂糖に関するアドバイスなども掲載しており、たくさんの子育て中のママたちに見てもらいたい内容となっております。



今回紹介した内容を含む「天下糖一プロジェクト」の活動内容につきましては、天下糖一ホームページにてご覧になれます。  
(<https://tenkatoitu-project.jp>)

# てん菜輸入品種 検定試験調査

北海道農産協会では、てん菜の優良品種認定に向け、輸入品種の生産力とその特性を調査し、決定上の基礎資料とするために、各種品種検定試験を北海道立総合研究機構に委託し、道内各地で生産力検定試験・特性検定試験並びに現地検定試験を実施



美瑛町現地試験圃場



抽苔性検定試験圃場

施しています。

また、各試験の状況につきましては適切な時期に、各試験圃場を試験関係者にて現地調査を実施しています。

尚、今年の検定試験調査に当りましては、新型コロナウイルス感染症対策を十分に心得、北海道立総合研究機構と相談の上、取進めさせて頂きました。

### 1. 生産力検定試験

道内5カ所（農業試験場・各糖業



そう根病抵抗性検定試験圃場

試験圃）にて輸入品種の中から多収・高糖性品種の検定を実施しています。

### 2. 特性検定試験

輸入品種の抽苔性並びにそう根病抵抗性・褐斑病抵抗性・根腐病抵抗性・黒根病抵抗性について、農業試験場の特別な圃場並びに特殊な試験方法にて検定しています。

### 3. 現地検定試験

有望品種の地域適応性を検定する



斜里町現地検定試験圃場

ために道内3カ所の圃場にて実施しています。

尚、現地試験については、実施地区の農業試験場と当該農業改良普及センターとの連携、並びに生産者・関係機関の協力にて実施しているものであります。

てん菜輸入品種検定試験については、より良い品種の導入により、てん菜が安定的に作付け出来るよう今後取組んで参ります。

# てん菜研究会の 開催について

NPO法人グリーンテクノバンクによる第18回技術研究発表会につきましては、新型コロナウイルス感染症防止対策からインターネット発表とし、講演内容の掲載ならびに講演内容への質問期間を7月21日から31日迄として開催されました。

今回の発表会は参加者各自が講演発表ファイルをダウンロードする形での取り進めとなり、事前申し込みにより登録された125名により質疑応答がなされました。

講演内容は幅広い分野の内容で、13課題にて行われ、質疑応答についてもネット上でのやり取りでしたが、多数行われました。

今回の発表会はネット上での開催にもかかわらず、数多くの方々の参加により盛会にて終了したものと思慮致します。

# てん菜受渡し等 現地調査

10月28日に十勝管内3製糖所・工場（日甜芽室製糖所、ホクレン清水製糖工場、北糖本別製糖所）において十勝地区畑作青果対策本部委員会との共催により、本会役員・審議委員・関係機関の参加のもと、原料受渡状況調査を実施しました。

各調査場所において、本年の操業状況、生産見込等についての説明を受けた後、原料受渡査定状況ならびに糖分測定作業状況を調査致しました。



た。

本年十勝地区の作況は、病害虫の発生なども少なかったことから良好に経過し、収量も平年並以上が見込まれ、原料受渡も順調に経過しております。

また10月末の買入糖分は16%台前半で推移しております。



同日、JAめむろの協力を頂き、芽室町にて狭畦6畦収穫機の稼働状況について調査しました。

収穫機は作業受託による稼働となっており、1日あたり6ha程度の収穫能力を有し、本年は150haの原料収穫を予定しております。



収穫効率向上による人手不足解消のため、作業受託面積については昨年に比べ増加しており、次年度以降も更なる増加が見込まれるとのことでした。



令和2年(2020年)産てん菜の生産見込数量(令和2年8月20日現在)

北海道農政部 生産振興局 農産振興課

令和2年産てん菜の生産見込数量

(総合) 振興局	令和元年(2019年)産(実績)			令和2年(2020年)産(見込)			対前年比			[参考] 平均単収 <sup>(※)</sup>
	作付面積	ha当たり収量	生産量	作付面積	ha当たり収量	生産量	作付面積	ha当たり収量	生産量	
	(ha)	(t/ha)	(t)	(ha)	(t/ha)	(t)	(%)	(%)	(%)	(t/ha)
空知	570.49	73.3	41,790	646.26	73.0	47,000	113.3	99.7	112.5	61.79
石狩	1,207.54	69.6	84,064	1,223.11	64.5	78,900	101.3	92.7	93.9	61.23
後志	1,202.69	63.9	76,882	1,197.88	56.0	67,100	99.6	87.6	87.3	57.67
胆振	1,443.26	60.5	87,323	1,434.03	57.7	82,700	99.4	95.4	94.7	58.58
日高	40.61	55.4	2,249	44.96	55.6	2,500	110.7	100.4	111.2	57.32
渡島	157.03	49.9	7,827	154.06	60.0	9,200	98.1	120.4	117.5	50.81
檜山	295.71	66.3	19,602	332.28	55.9	18,600	112.4	84.3	94.9	58.54
上川	3,415.53	68.9	235,161	3,574.37	66.0	234,800	104.7	95.9	99.9	61.21
留萌	207.60	63.2	13,110	218.07	61.0	13,200	105.0	96.6	100.7	48.74
宗谷	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
オホーツク	22,640.64	74.5	1,685,711	22,745.51	70.3	1,599,300	100.5	94.4	94.9	63.02
十勝	24,761.69	68.9	1,705,224	24,773.42	65.9	1,633,000	100.1	95.7	95.8	66.05
釧路	287.31	68.4	19,662	287.50	64.7	18,600	100.1	94.6	94.6	60.56
根室	113.71	61.4	6,985	117.64	60.4	7,100	103.5	98.3	101.7	53.49
合計	56,343.81	70.7	3,985,590	56,749.09	67.2	3,812,000	100.7	95.0	95.6	63.69

※ 平均単収は、直近7か年(R1(2019)~H25(2013))のha当たり収量のうち最高、最低を除く5か年分の平均。

10月13日に令和2年産てん菜の生産見込数量(8月20日現在)が北海道農政部生産振興局農産振興課より発表されました。  
 本年の現在までの生育等概略は次のとおりです。

令和2年産てん菜の作付面積

作付面積は56,749haと、前年を405ha上回りました。

てん菜の生育状況

少雨による干ばつなど見られる地域があったが、病害虫発生も少なく経過しました。

令和2年産てん菜生産見込数量

ha収量は67トンとなっており、全道生産量は381万2000トンの見込みとなっております。

製糖所・工場受入開始日程

日本甜菜製糖株式会社	10月12日
芽室製糖所	10月10日
美幌製糖所	10月5日
士別製糖所	10月10日
ホクレン農業協同組合連合会	10月10日
中斜里製糖工場	10月10日

清水製糖工場	10月19日
北海道糖業株式会社	10月13日
北見製糖所	10月14日
道南製糖所	10月13日
本別製糖所	10月14日

協会の動き

9月~11月

- ・企画調整専門部会現地圃場調査(9月2~3日)
- ・十勝オホーツク管内調査(品種試験及びそう根病現地調査)(9月23~25日)
- ・糖分測定センター操業前点検(9月16~10月12日)
- ・全道6糖分測定センター(第2回審議委員会第4回理事会)(10月20日)
- ・てん菜受渡等現地調査(10月28日十勝地区3製糖所)
- ・糖分測定センター立入点検(受入期間中2回実施予定)
- ・全道6糖分測定センター